

## 当園における新型コロナウイルス感染者の発生について（第2報）

12月1日に第3療育課利用者15名、第3療育課職員8名、計23名（前日の職員1名を合わせ24名）の感染が判明しました。その後の検査で、12月2日（水）に第2療育課職員1名、12月4日（金）に第3療育課利用者2名、職員3名、12月5日（土）に第3療育課利用者1名、職員2名の陽性が確認され、現在の陽性者は利用者18名、職員15名、計33名です。

上記33名以外の、すべての療育課の利用者、すべての療育棟に勤務する職員、感染の可能性の高い職員の大部分並びに外部の関係者にPCR検査を実施し、陰性を確認しました。現時点では、第2療育課利用者に感染は認めておりません。第3療育課以外には感染は広がっておりません。

第3療育課は、検査陽性と判った利用者数名に発熱、咳嗽、食思不振などの症状が見られていますが、搬送を必要とするような重症者はおりません。

第2療育課に症状が出ている利用者はありません。

検査陽性の職員は概ね落ち着いているが、1名が入院加療を受けています。

12月2日、園内に、厚労省クラスター対策班、災害派遣医療チーム DMAT（disaster medical assistance team）、感染制御看護師、北海道、旭川市保健所職員を中心とした対策本部が設置され、対策本部の指揮の下、感染状況の把握、感染制御（療育棟内の区分け、個人防護具・感染対策の確認など）、利用者及び職員の健康管理、人的資源の把握と補充の調整、物的資源の把握と調達、ごみ・リネン・洗濯・食事の調整、職員のケアなどの対策にあたっています。

また、感染を拡大しないように園全体で取り組んでいます。

利用者とそのご家族ならびに関係者の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけしますことを心からお詫び申し上げます。

ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年12月5日

北海道療育園 園長 林 時伸